



カブドットコム証券

平成16年3月期
決算説明資料
カブドットコム証券株式会社
平成16年4月22日(木)



カブドットコム証券

カブドットコム証券イメージキャラクター
日本代表 DF 坪井慶介選手(浦和レッズ)

平成16年3月期決算内容

4	・平成16年3月期 決算サマリー
5	・平成16年3月期 決算概要
6	・平成16年3月期 販管費状況
7	・半期ベースでの決算トレンド
8	・直近四半期毎 決算推移
9	・直近四半期毎 販管費状況
10	・経営効率性
11	・常勤役職員一人あたりの経営数値

(補助資料)

12	・口座数推移
13	・預り資産推移
14	・入出金額
15	・1日あたり株式注文および約定
16	・株式ネット(差引)在庫額 - 1
17	・株式ネット(差引)在庫額 - 2
18	・株式委託手数料率
19	・株式のシェア
20	・信用建玉残高
21	・オプション取引のシェア
22	・先物取引のシェアと建玉残高
23	・信用取引評価損益率
24	・信用取引評価損益率(較差)

その他実績等

26	・経営理念と経営基本方針
27	・当期の取組(2003年4月～2004年3月)
28	・投資教育/啓蒙
29	・内部・外部監査の状況 - 1
30	・内部・外部監査の状況 - 2
31	・委員会等設置会社への移行



・平成16年3月期決算内容

・当期決算は過去最高

- 前期比、営業収益2倍強、経常利益14倍、最終利益24倍を達成

・平成13年度(当社合併年度)以降、半期毎では 営業ベース連続増収増益達成

- オンライン専業大手では当社のみ



平成16年3月期 決算概要



カブドットコム証券

市場個人売買代金前期比2倍に対し、当社受入手数料は2.3倍とアウトパフォーム。
経常利益は前期比14倍と大幅増益。

(単位:百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期	前期比増減率
営業収益	2,944	6,569	123%
受入手数料	2,307	5,340	131%
金融収益	639	1,264	98%
金融費用	538	916	70%
純営業収益	2,406	5,652	135%
販管費	2,202	2,916	32%
営業利益	203	2,735	1,245%
経常利益	185	2,578	1,291%
税引前利益	126	2,238	1,672%
当期利益	125	3,037	2,328%
(参考) 3市場株式個人委託 1日あたり約定金額	2,122億円	4,219億円	99%



平成16年3月期 販管費状況



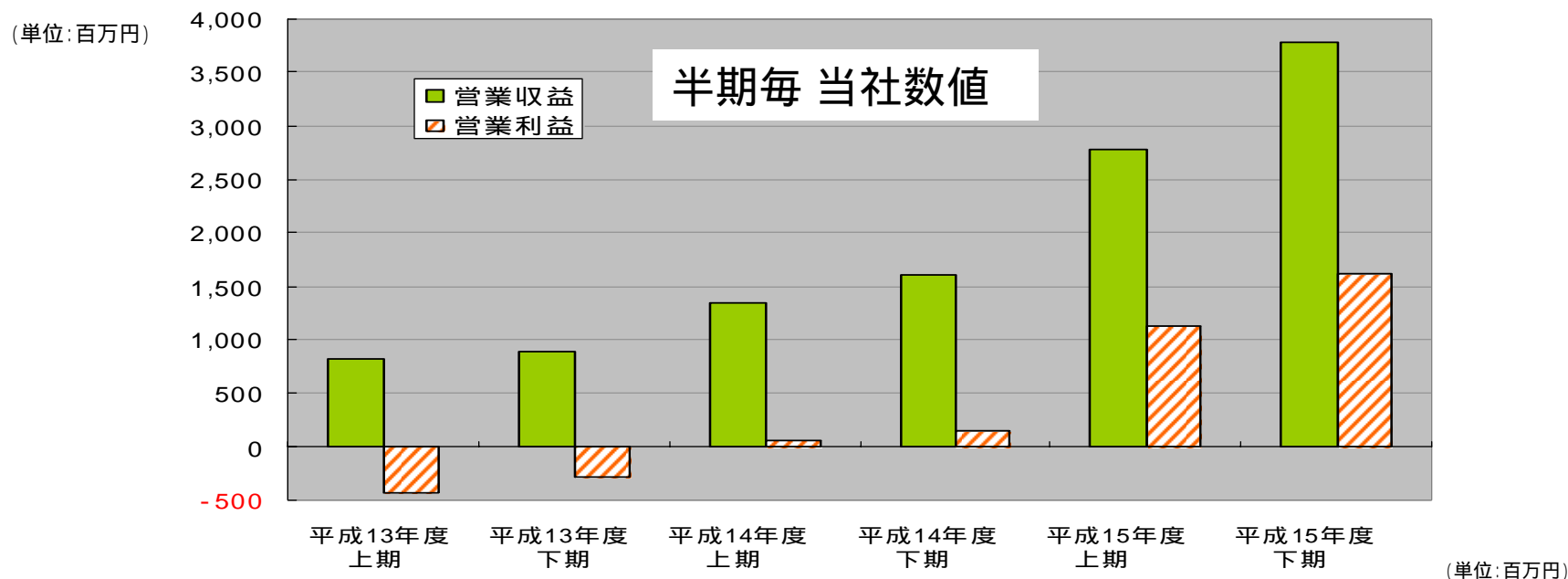
売上規模が前期比2倍以上となったにも係らず販管費は1.3倍に留まる。大規模システム増強投資を行ったが、開業時投資の償却が漸次終了しているため関連費用(不動産関係費、減価償却費)は微増。また人件費比率は前期比並の15%。

(単位:百万円)

	平成15年3月期		平成16年3月期		前期比 増減率
		(構成比)		(構成比)	
販売管理費合計	2,202		2,916		32%
取引関係費	880	40%	1,362	47%	55%
広告宣伝費	128		266		108%
その他	752		1,096		46%
人件費	323	15%	424	15%	31%
不動産関係費	528	24%	584	20%	10%
事務費	244	11%	259	9%	6%
租税公課	23	1%	25	1%	11%
減価償却費	173	8%	218	7%	26%
その他販管費	29	1%	42	1%	42%

半期ベースでの決算トレンド

平成13年の合併以降、半期ベースで一貫して増収増益継続。平成14年度の市況低迷時に黒字化達成し、平成15年度に一挙に黒字幅拡大。



	松井(単体)		Eトレド(単体)		DLJ		カブドットコム		マネックス		日興ビーンズ	
	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益
平成13年度 上期	6,094	2,456	3,549	353	2,996	119	811	432	1,707	449	1,146	897
平成13年度 下期	6,691	1,901	4,111	678	2,947	1	896	282	1,574	787	1,081	455
平成14年度 上期	6,977	1,651	3,892	331	3,039	10	1,347	60	1,452	833	1,425	43
平成14年度 下期	6,448	1,876	3,882	146	2,975	83	1,596	142	1,314	932	1,445	23
平成15年度 上期	10,074	4,986	5,959	1,601	4,598	1,315	2,782	1,123	3,181	768	2,948	1,085
平成15年度 下期	--	--	--	--	--	--	3,786	1,612	--	--	--	--

■ は前半期比減 各社HP公表数値より当社集計



直近四半期毎 決算推移



営業収益、経常利益ともに過去最高を更新中。

(単位:百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期					
	第4四半期 (1月-3月)	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-3月)	直前 四半期比 増減率	前年 同期比 増減率
営業収益	839	1,169	1,612	1,693	2,093	24%	149%
受入手数料	611	946	1,331	1,366	1,696	24%	177%
金融収益	228	223	283	329	427	30%	88%
金融費用	194	170	204	229	311	36%	61%
純営業収益	644	998	1,408	1,463	1,781	22%	176%
販管費	563	609	674	716	916	28%	62%
営業利益	80	389	733	747	865	16%	969%
経常利益	74	384	716	737	739	0%	894%
税引前利益	49	346	508	698	684	-2%	1,282%
当期利益	48	345	508	698	1,485	113%	2,933%
委託手数料/販管費率	104%	151%	192%	185%	180%		
1日あたり株式約定件数	8,083	11,526	15,413	15,736	21,015	34%	160%

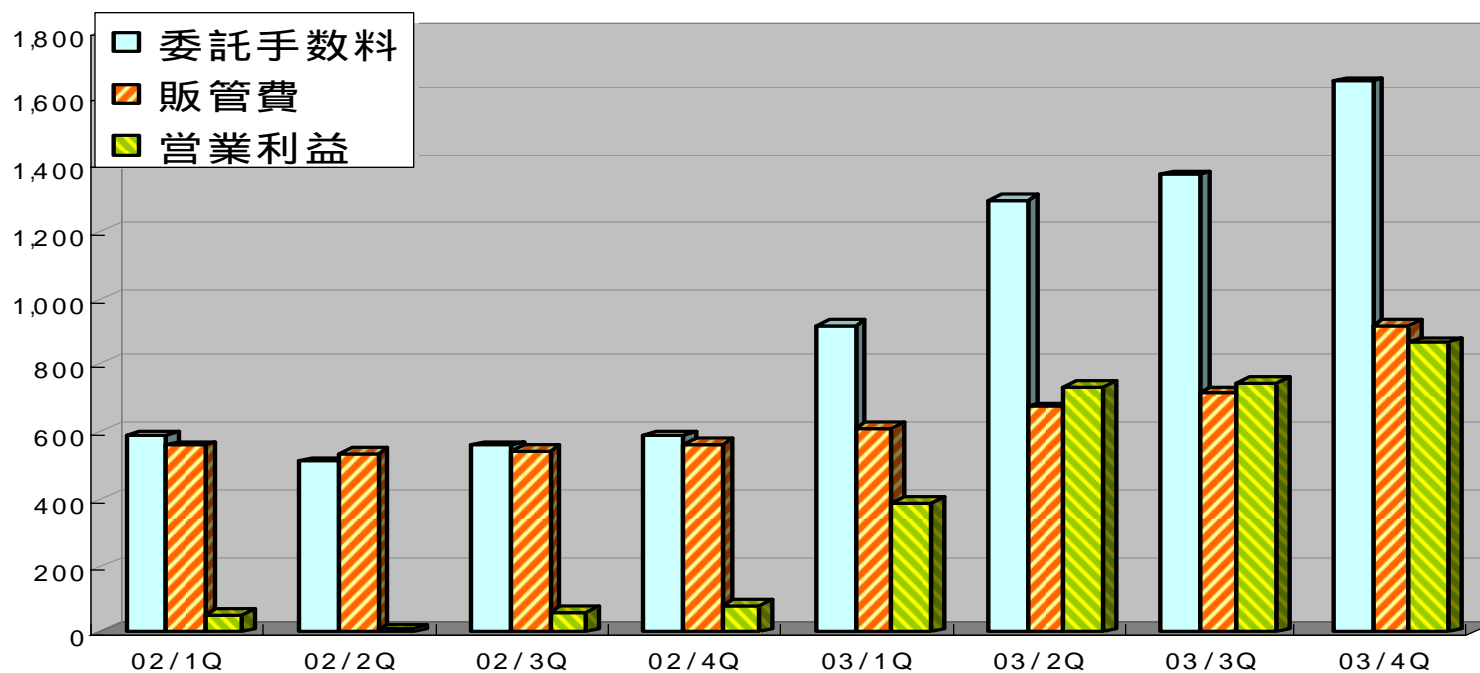
ブランディング強化のため広告宣伝費を増強。平成16年3月期第4四半期の人件費には、期末インセンティブ賞与含む。

(単位:百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期					
	第4四半期 (1月-3月)	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-3月)	直前 四半期比 増減率	前年 同期比 増減率
販売管理費合計	563	609	674	716	916	28%	62%
取引関係費	214	264	291	360	446	24%	108%
広告宣伝費	29	43	28	71	123	72%	314%
その他	184	221	262	289	322	12%	75%
人件費	81	82	100	85	156	82%	91%
不動産関係費	139	137	148	150	147	-2%	6%
事務費	59	65	68	51	73	44%	23%
租税公課	5	5	6	6	7	19%	28%
減価償却費	48	51	53	55	59	8%	22%
その他販管費	14	3	6	5	25	335%	79%

委託手数料のみで販管費の2倍近くをカバーできる経営効率性が定着。

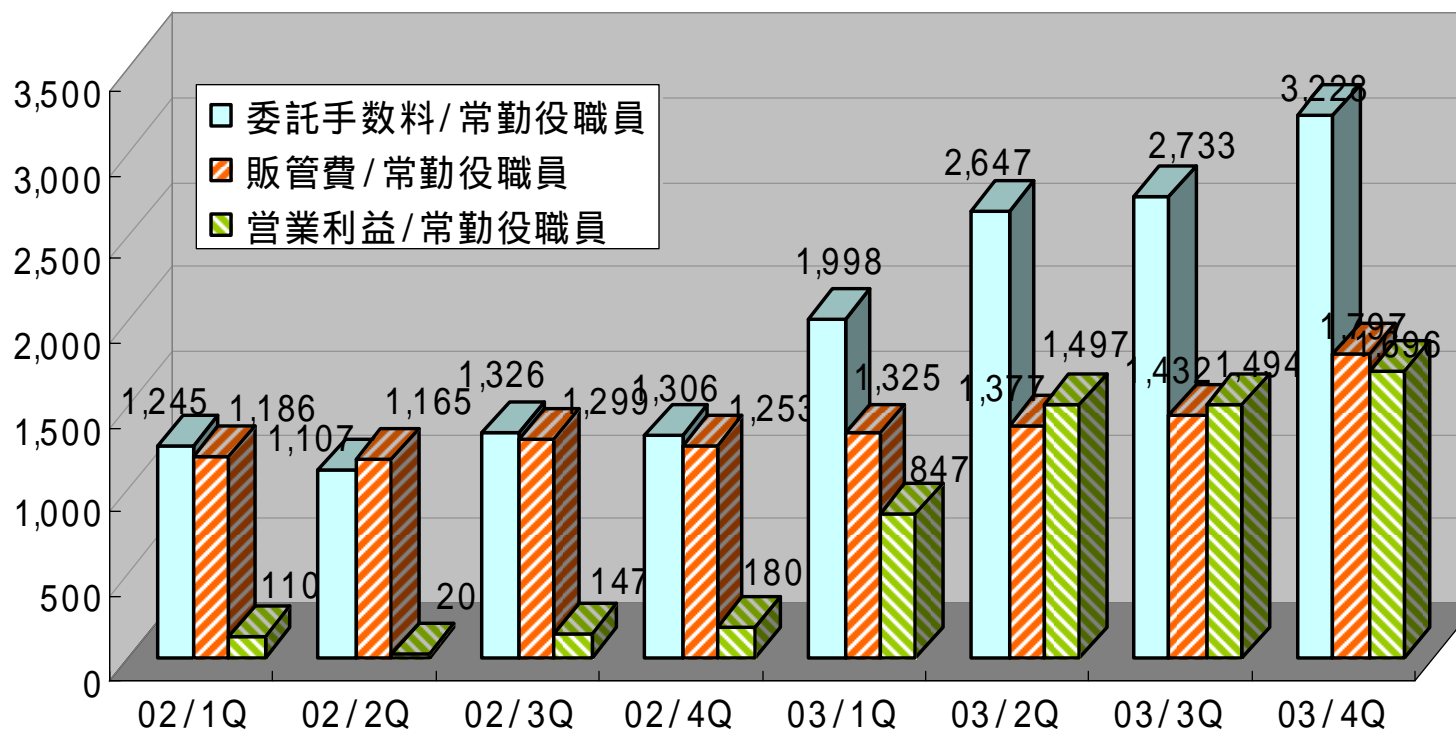
(単位:百万円)



委託手数料/ 販管費率	105%	95%	102%	104%	151%	192%	185%	180%
----------------	------	-----	------	------	------	------	------	------

足元四半期で一人あたり委託手数料は300万円を突破、また同営業利益も約170万円まで拡大。少数精鋭による効率経営が定着した。

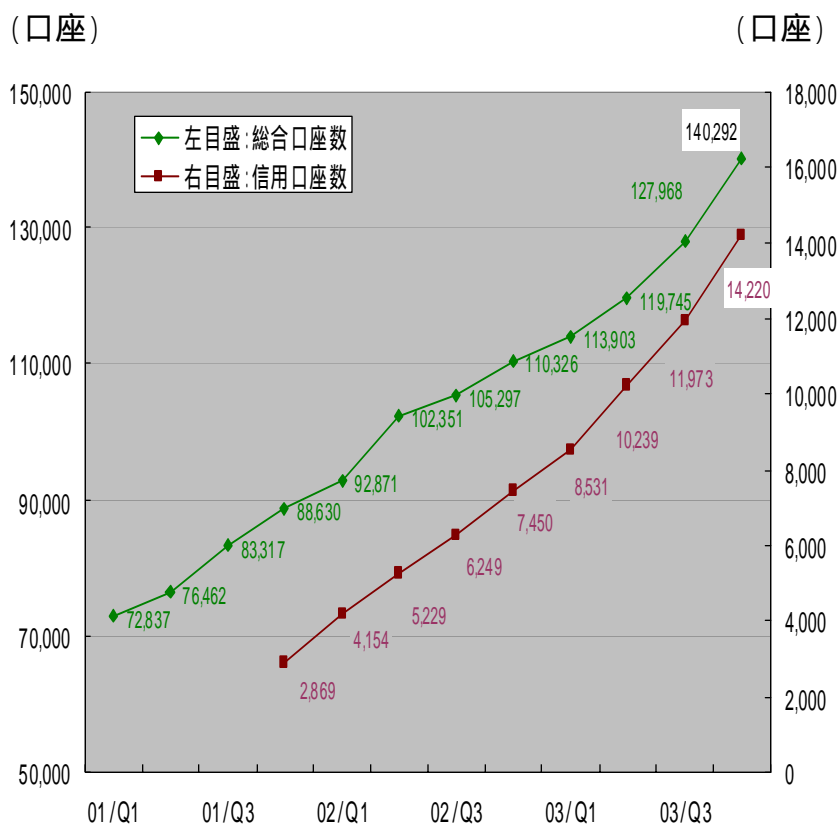
(万円)



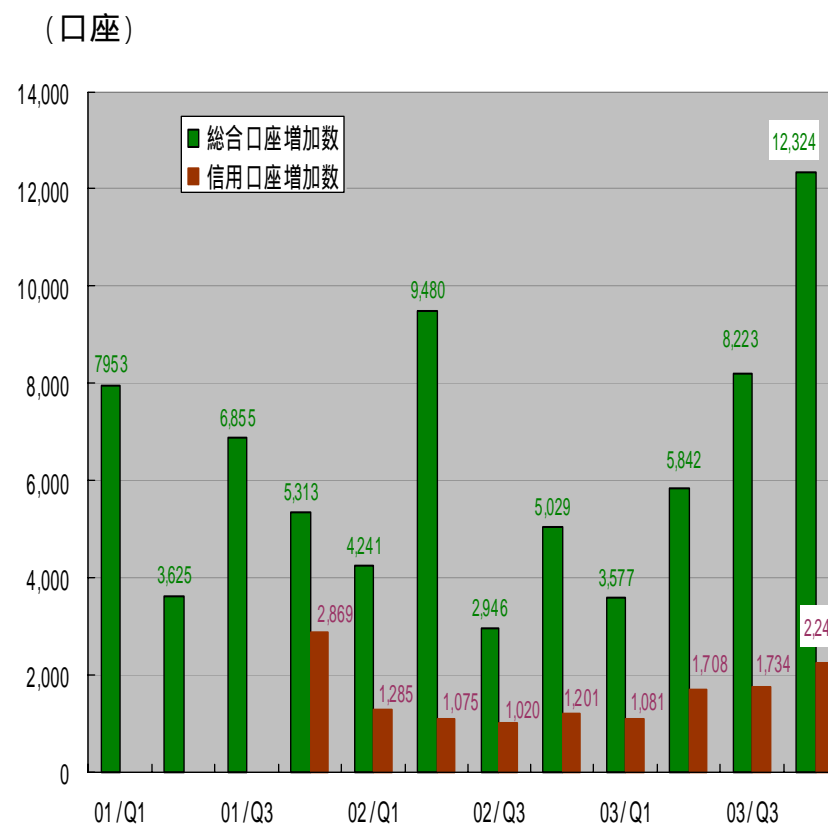
常勤役職員数	47	46	42	45	46	49	50	51
--------	----	----	----	----	----	----	----	----

口座数増加ペースが加速してきており、平成15年度第4四半期は、四半期増加数で初めて1万口座を突破。また、同様に信用口座も初の2千口座超の増加。

・口座数推移

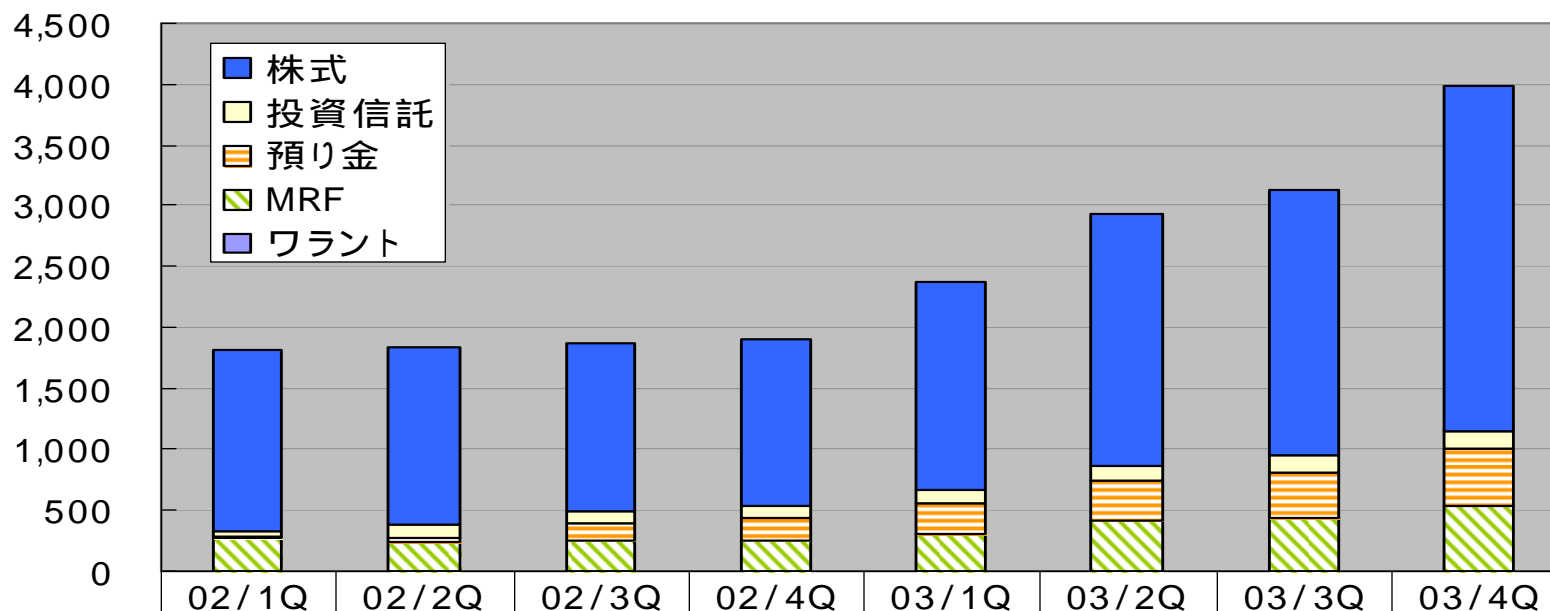


・口座増加数推移



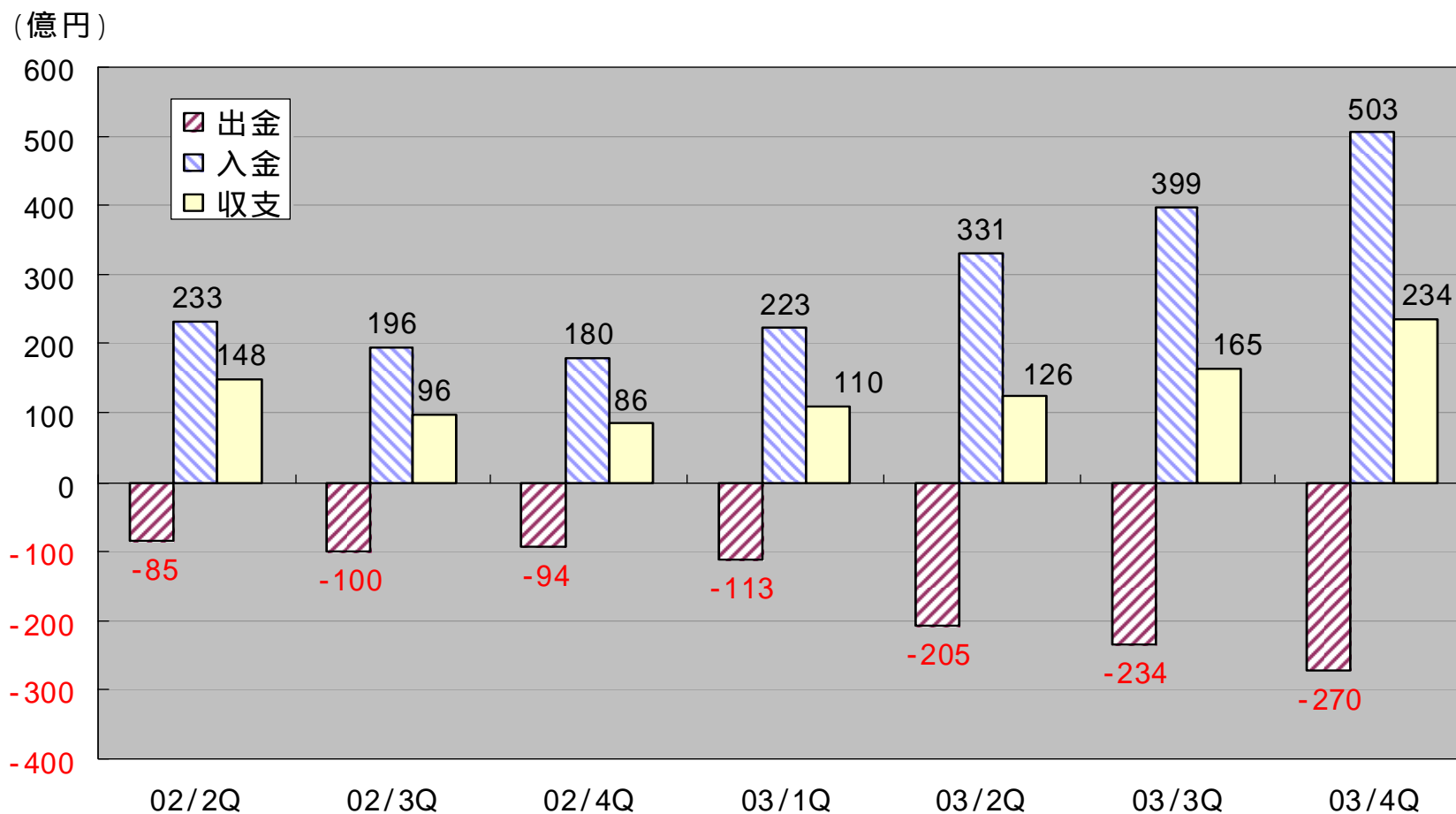
直近で約4,000億円となり、1年前から倍増。

(単位: 億円)

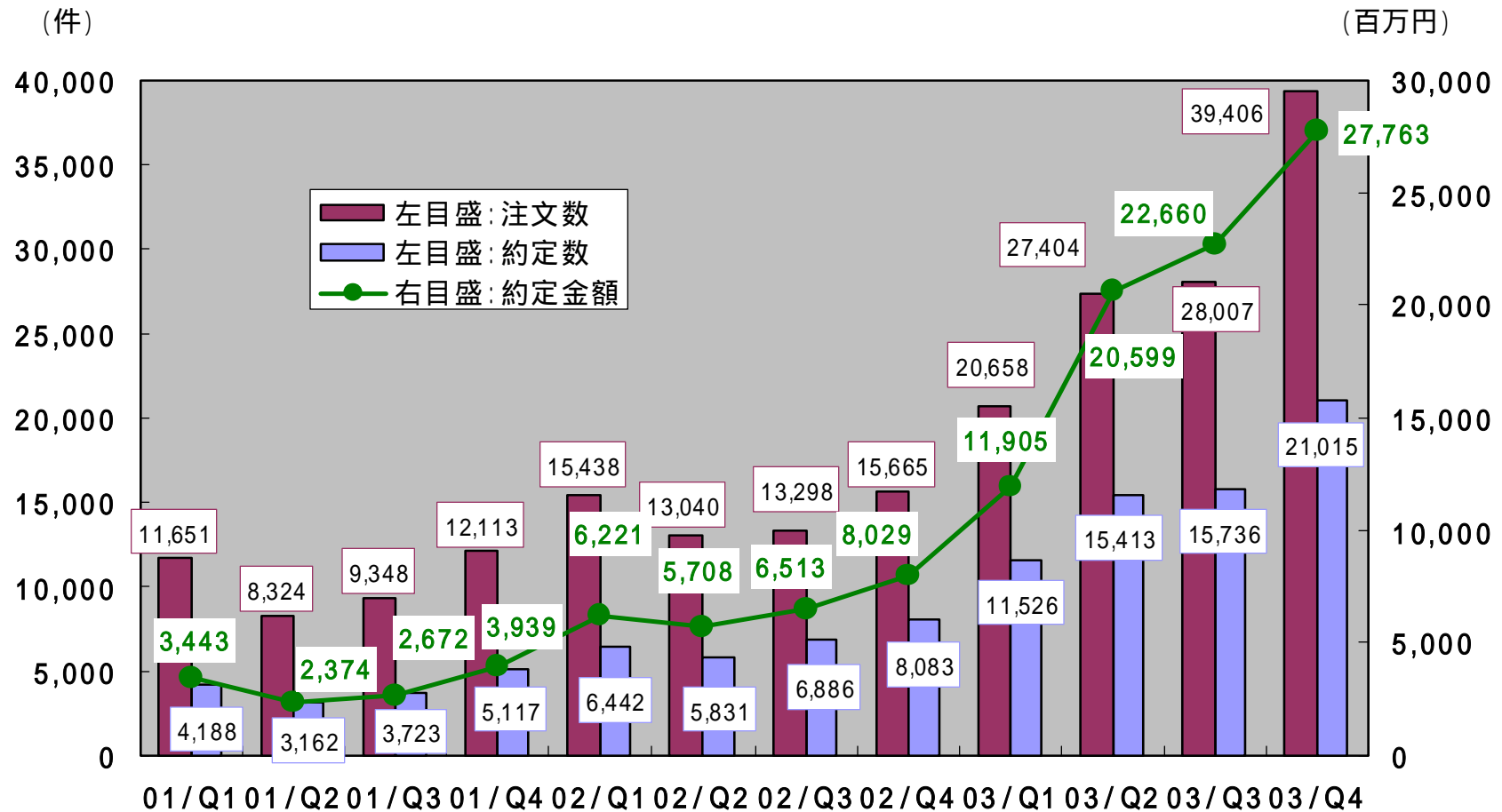


■ 株式	1,498	1,462	1,374	1,377	1,716	2,074	2,189	2,825
□ 投資信託	32	103	99	103	116	124	129	141
▨ 預り金	28	31	149	174	241	336	388	475
▤ MRF	262	237	242	256	308	405	428	535
■ ワラント	3	2	1	1	2	3	2	2

ネット入金額(収支)4半期連続で増加。直近四半期では初めて200億円を突破。



足元の注文/約定数は1年前の約2.5倍に拡大、約定金額は約3.5倍。



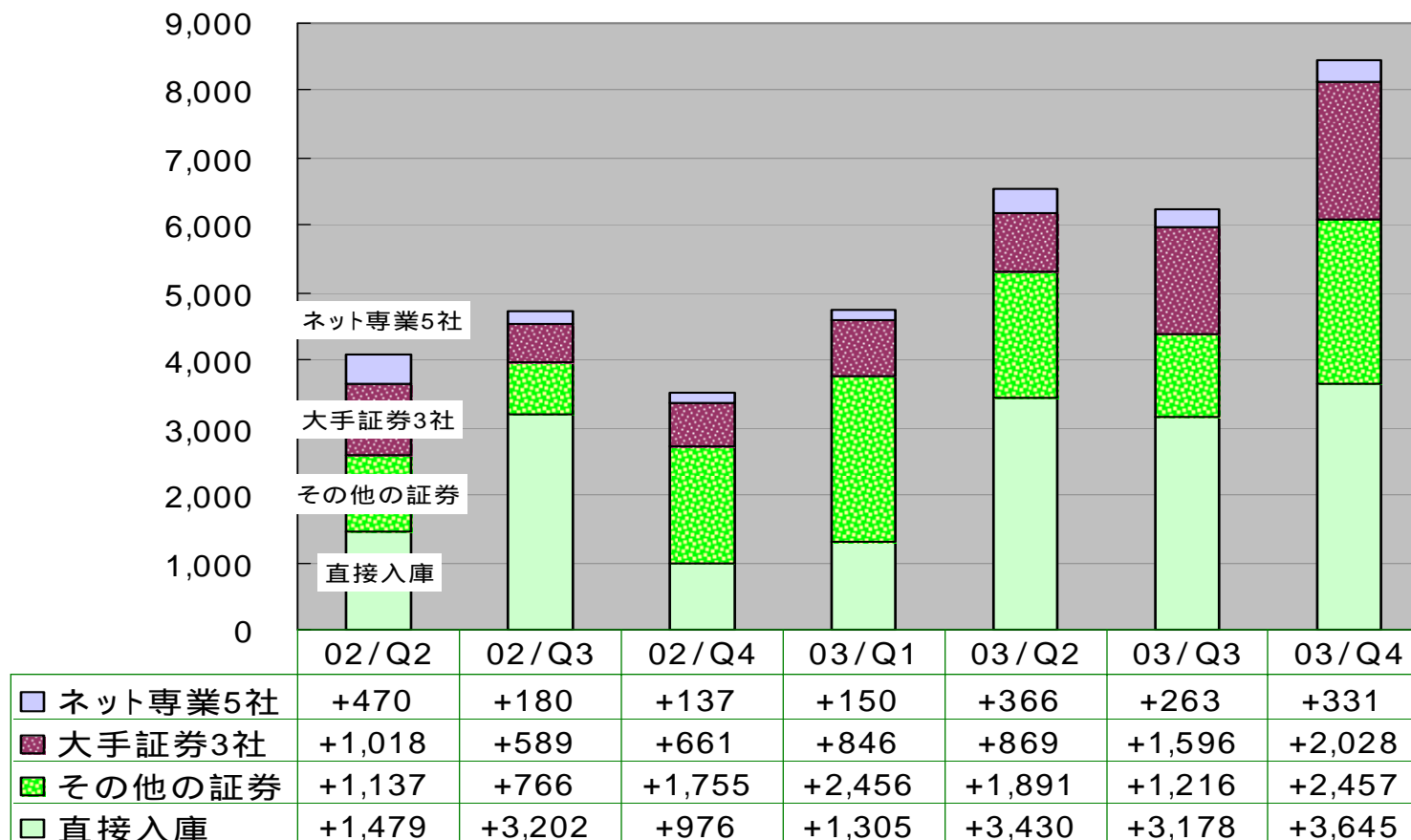
足元四半期のネット入庫総額は約85億円と1年間で2.4倍に拡大。特に対面証券からの移管と直接入庫(郵送および証券代行会社持込み)が好調。

(単位:百万円)

	02/Q2	02/Q3	02/Q4	03/Q1	03/Q2	03/Q3	03/Q4
A証券	259	107	164	75	57	4	175
B証券	-101	-114	-138	44	73	-58	-214
C証券	139	84	40	54	157	234	117
D証券	132	56	48	48	59	7	136
E証券	40	47	22	-71	20	75	117
ネット専業5社計:	470	180	137	150	366	263	331
X証券	523	404	437	476	427	472	951
Y証券	367	-105	56	230	278	608	811
Z証券	127	290	168	139	164	517	267
大手3社計:	1,018	589	661	846	869	1,596	2,028
その他の証券会社:	1,137	766	1,755	2,456	1,891	1,216	2,457
振替差引入庫額: + +	2,624	1,535	2,553	3,452	3,127	3,075	4,817
直接入庫:	1,479	3,202	976	1,305	3,430	3,178	3,645
+ + + 計	4,103	4,737	3,530	4,757	6,556	6,253	8,462

当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

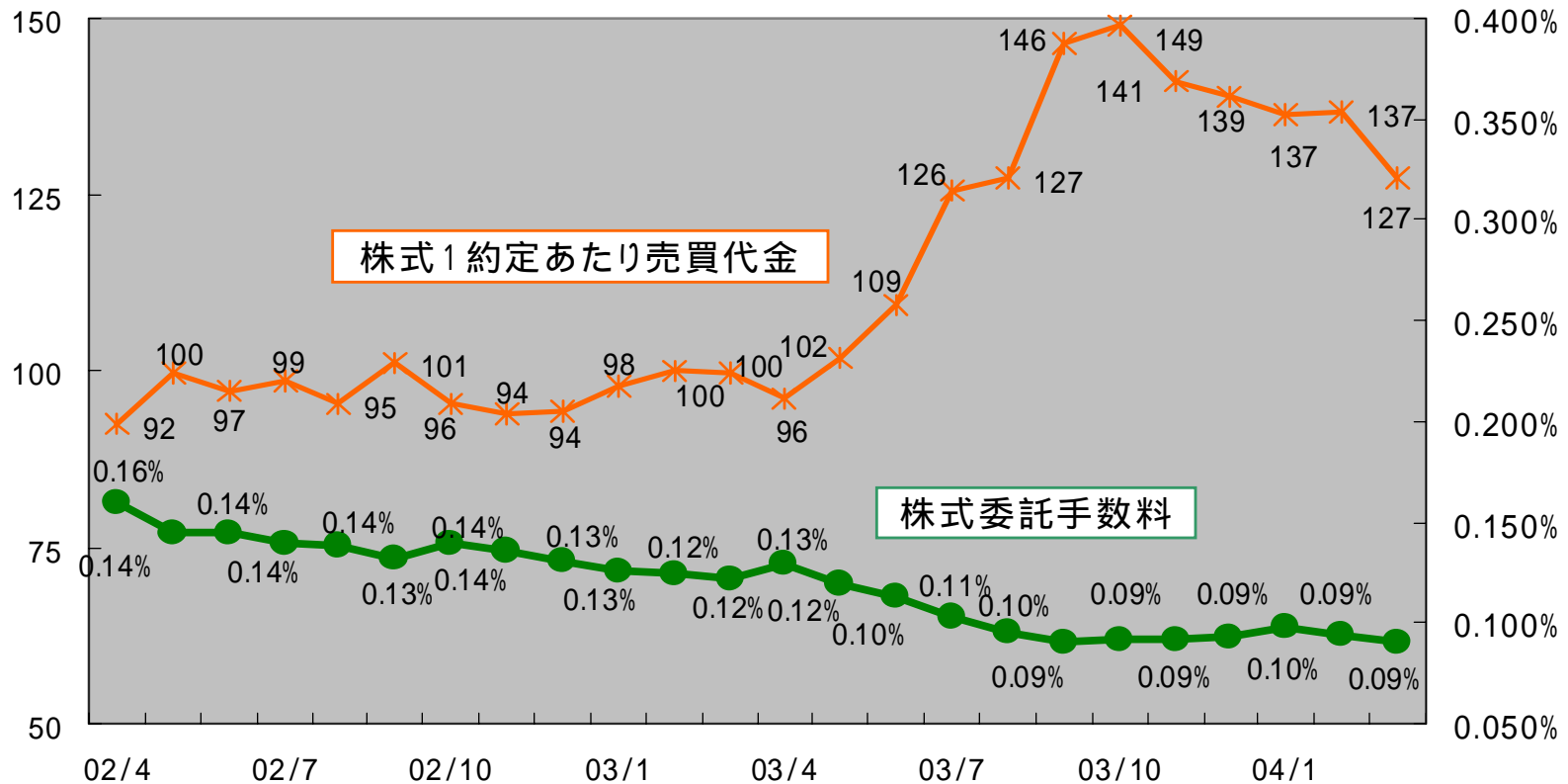
(単位: 百万円)



当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

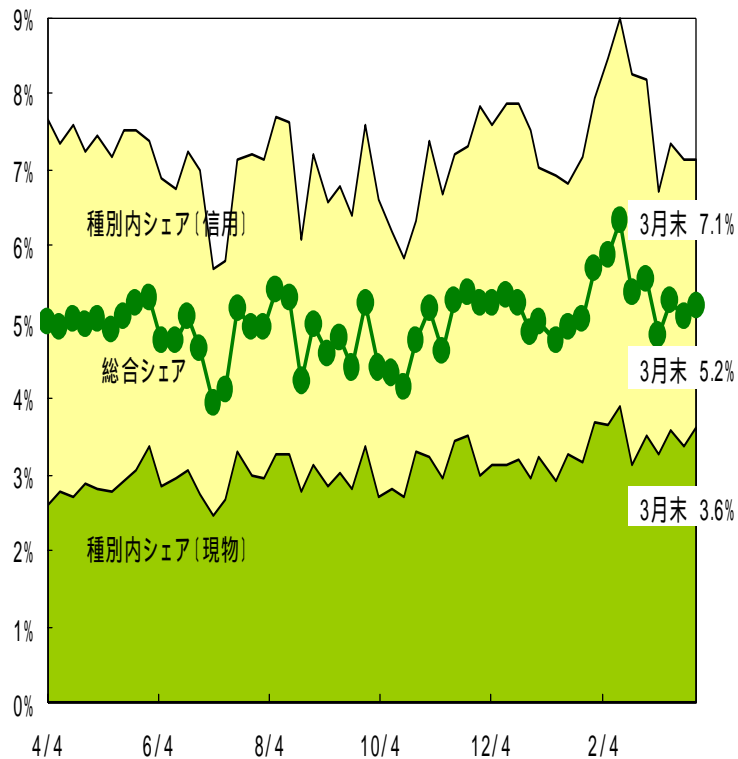
約定単価は低下基調であるが、手数料率は引き続き0.1%程度と業界最低水準。
4月より最低手数料を引き下げし、小口取引についても安価な手数料体系を提供。

単位:万円



・当社の株式シェア

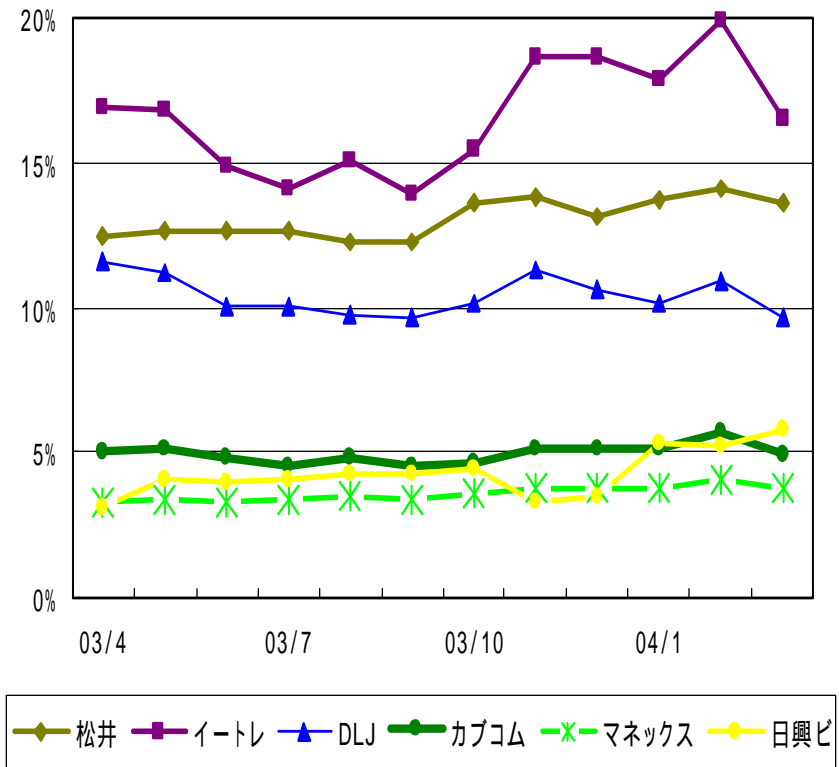
3市場個人委託金額に対する当社約定金額の比率



東京証券取引所公表数値より当社計算

・ネット証券各社の株式シェア

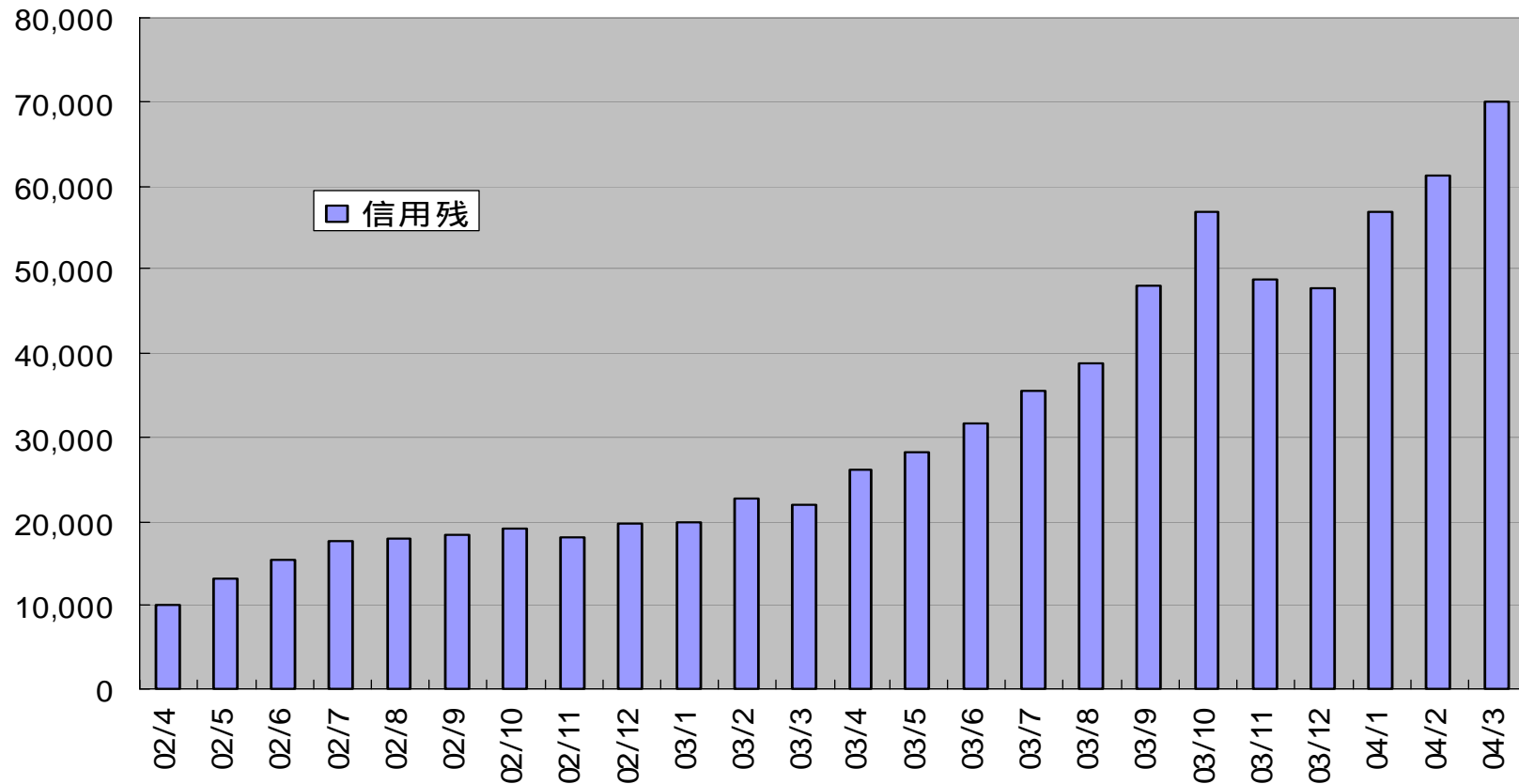
3市場個人委託金額に対する約定金額の比率



東京証券取引所と各社HP公表数値より当社計算

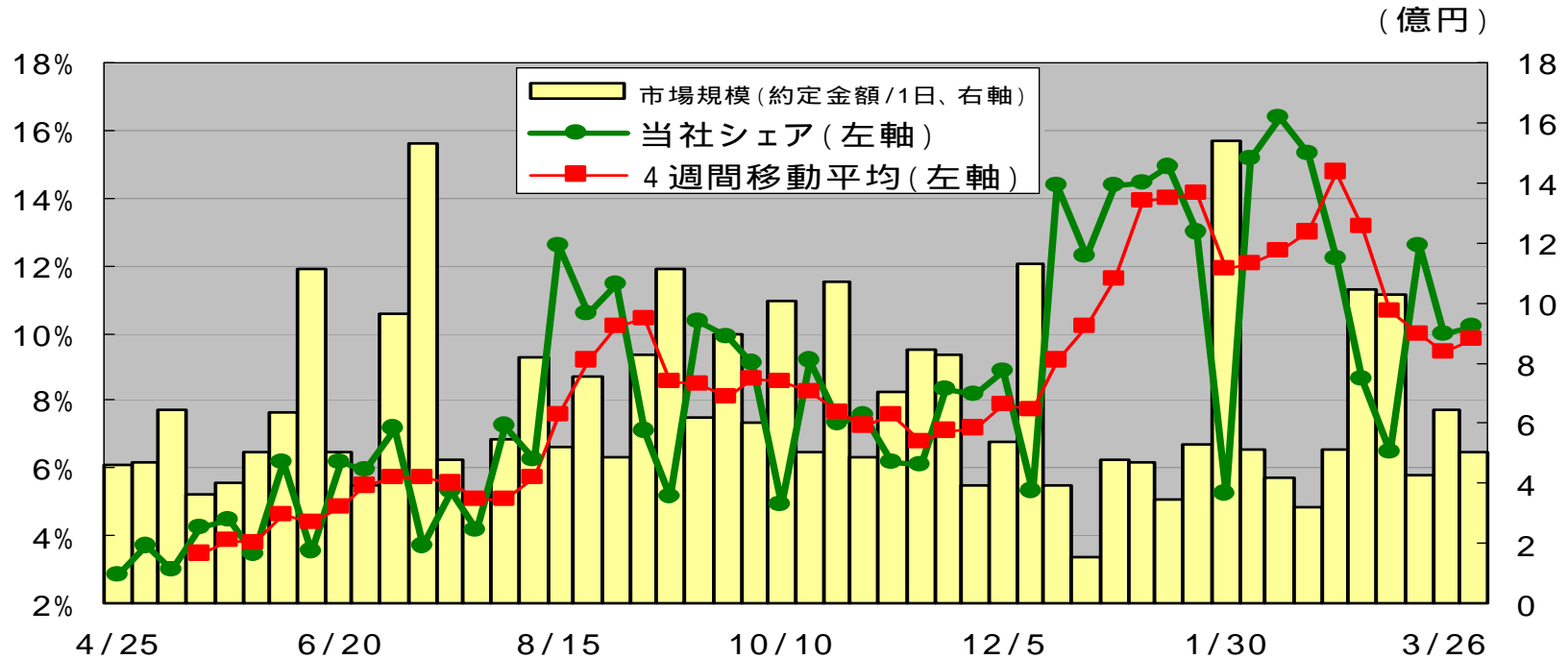
信用建玉残高は、昨年度末に比べて3倍強に拡大し、700億円弱まで増加。

(百万円)



競業他社の参入によりシェアは若干低下しているものの、10%前後と取扱い開始1年で確固たる地位を確保。引き続きオプション認知度向上に努力。

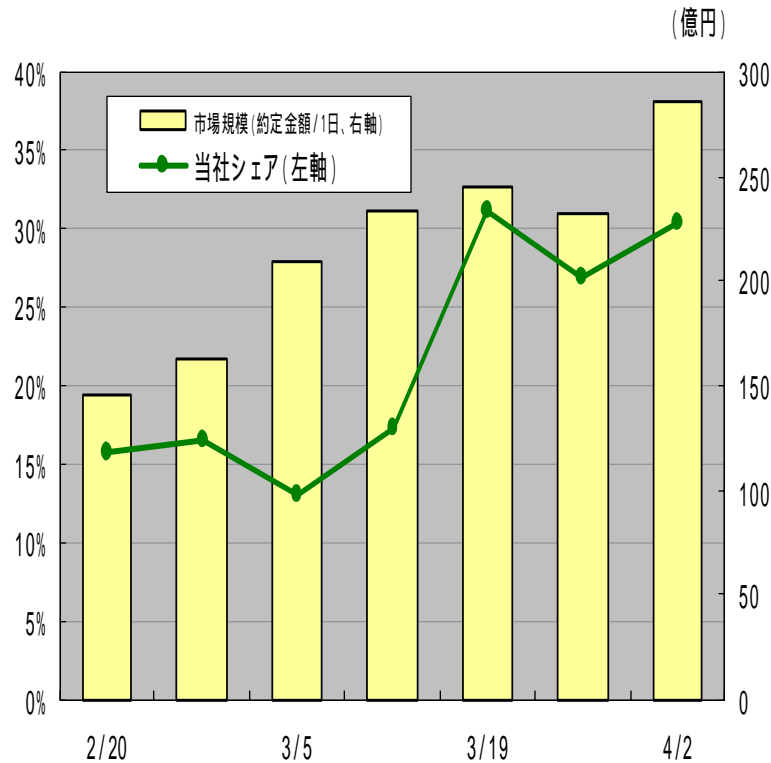
日経225オプション個人委託金額に対する当社の比率



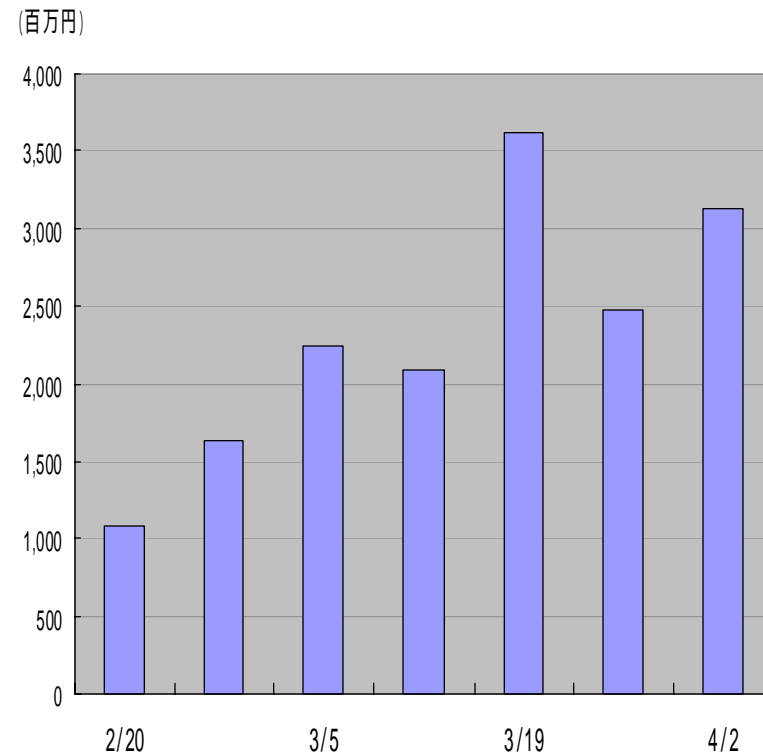
大阪証券取引所公表数値より当社計算

取扱い開始わずか3ヶ月足らずで既に30%超のシェア獲得。先物建玉残高も増加中。

日経225先物個人委託金額に対する当社の比率

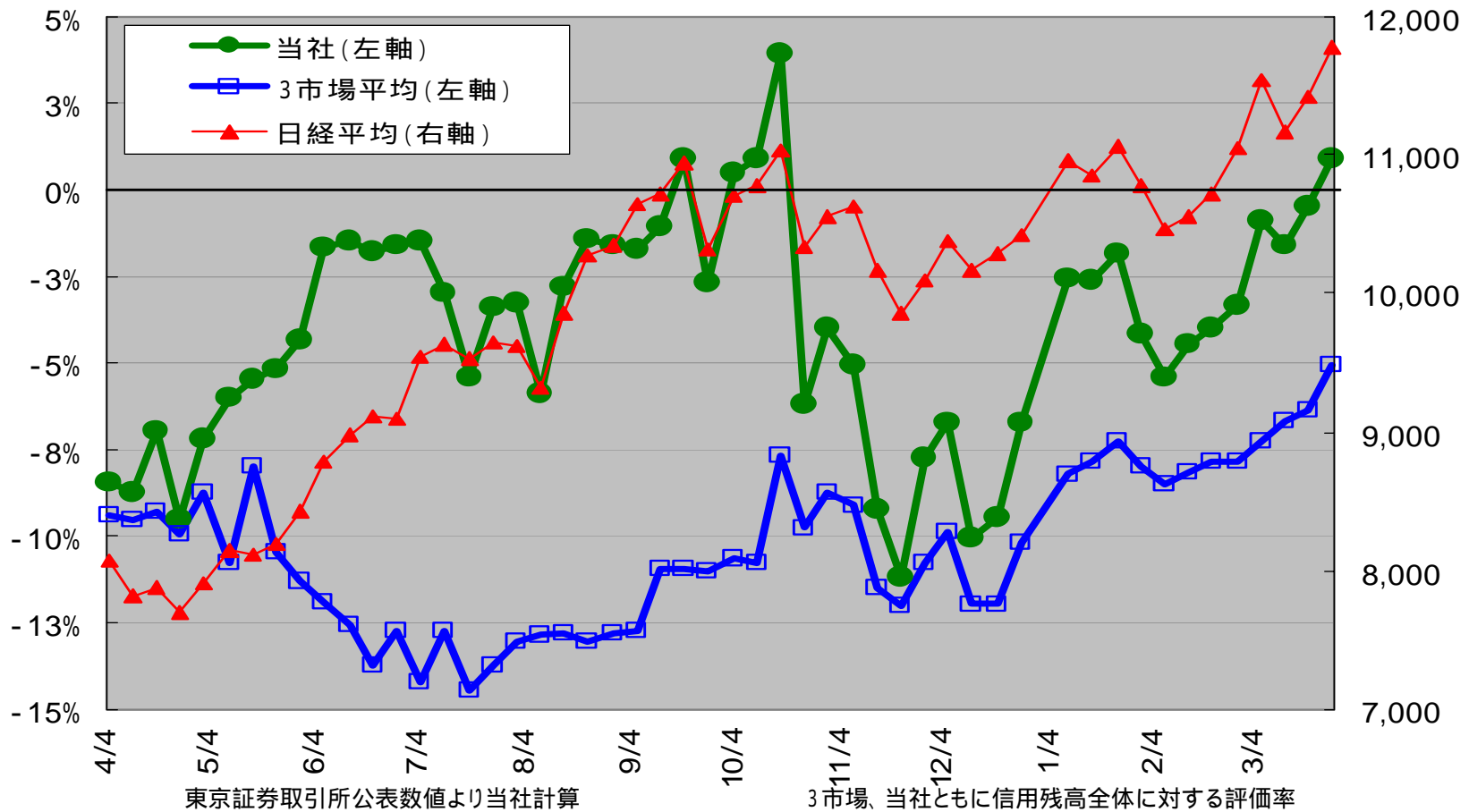


各週末の先物建玉残高

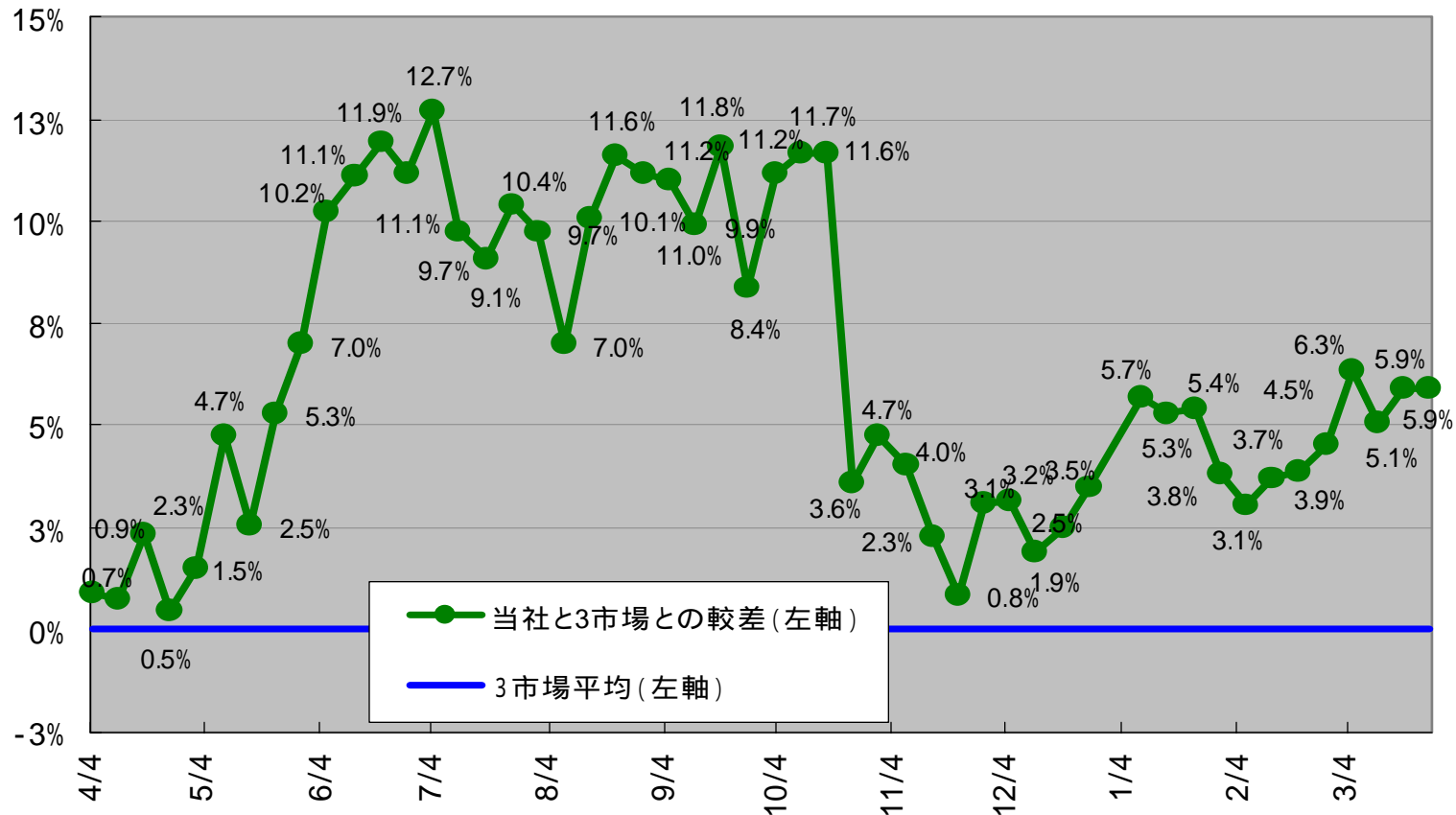


大阪証券取引所公表数値より当社計算

当社顧客の評価率は、引き続き3市場平均を上回り続け、足元格差は拡大中。



当社顧客の評価率は、3市場平均との較差において常にプラスで推移。



東京証券取引所公表数値より当社計算

3市場、当社ともに信用残高全体に対する評価率
(グラフは3市場平均を0%としてカブドットコム証券との較差を表す)

kabu.com

・その他実績等



顧客投資成績重視の経営

個人投資家へ「リスク管理追求型」というコンセプトのもとに、利便性と安定性を徹底的に追及した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供する。

主力商品である株式関連サービスに経営資源を集中的に投下し、取引サービスはもとより、付随サービス(資金決済、情報提供、顧客啓蒙等)においても当社ならではの差別優位性サービスを提供し、確固たるブランドを構築する。

サービス顧客満足度、コンプライアンス等の漠然としがちな事項含め、全ての事項を指数化し客観的に評価できる内部管理システムを構築、国際基準に沿ったPDCAサイクルのもと常に業務改善に努める。

徹底的な社員教育、客観的な評価モデル導入により、高いモチベーションのもと少数精鋭主義により、人材資源の効果を極大化する経営。

従来は人間で行ってきた営業サービスや管理ノウハウを、先進のIT技術力を駆使し 極限まで体系的に対応するとともに、ネット専業ならではのIT駆使したネットワーク型の新しいビジネスを展開する。



当期の取組 (2003年4月 ~ 2004年3月)



カブドットコム証券

当社はより品質の高いサービス提供を目指し、お客様への様々な新しい投資スタイルの提案を行っております。

	新サービス	機能拡充	取得・受賞・その他
第1Q	<ul style="list-style-type: none"> ・「株価指数オプション」取引開始(4月) ・NTTドコモアプリ「kabu.カレンダー」提供(5月) ・DDIポケットAirHTMPHONE公式メニュー登録(5月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料スクリーンセーバー大幅機能アップ(4月) ・株価指数オプション取引携帯対応(5月) ・信用取引ルール改善(6月) ・iモードでも「±指値」が注文可能に(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦和レッズ 坪井選手を当社イメージキャラクターに起用(4月) ・ISO9001(2000年版)取得(6月)
第2Q	<ul style="list-style-type: none"> ・iモード等「株式市場ニュース」配信開始(7月) ・「オプション・シミュレーター」提供開始(8月) ・「QUICKリサーチネット」の提供開始(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タンス株入庫拠点に日本証券代行業を追加、拠点数は全国31ヶ所に拡充(7月) ・自然言語対応検索「kabu.ask」提供開始(7月) ・iモード会員画面にリアルタイム株価チャート追加(8月) ・信用取引に「一括返済機能」追加(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストコールセンターオブザイヤー受賞(9月) ・沖縄・那覇で「株スクール」開催(9月)
第3Q	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット証券初「お得意様優遇レート」採用(10月) ・株式市場ニュースの自動通知サービス開始(11月) ・「新井式カブボード」サービス開始(11月) ・ネット証券初BB放送kabu.studioTM開設(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「QUICKリサーチネットメール通知」開始(10月) ・新資産管理「目標達成時通知」開始(12月) ・10億円規模のシステム設備増強開始(11月) ・オプション取引のリアルタイムSPAN[®]対応(12月) ・アプリとiモードの連携機能を強化(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内証券初時間帯による手数料割引kabu.com24キャンペーン実施(11月) ・電話対応コンテスト優良賞受賞(12月)
第4Q	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムSPAN[®]「株価指数先物」取引開始(1月) ・「kabuマシーンTM」の試験サービス開始(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「株券ゆうパック」入庫サービス開始(1月) ・バックオフィスサーバーを64bit化対応(1月) ・注文系データベースサーバーを64bit化対応(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式本アマゾン部門ランキング1位に(2月) ・浦和レッズのユニフォームパートナーに(2月) ・福岡証券取引所の特定正会員に加入(3月)

当社は多角的な投資教育/啓蒙活動を継続しています。

実施月	種類	内容	参加者数
2004年3月	kabu.studio	第4回 ペンタゴンチャート	3,064アクセス
2004年2月	kabu.studio	第3回 らくらく電子交付	2,323アクセス
2004年1月	セミナー	3社共同セミナー	約5,000名
2004年1月	kabu.studio	第2回 kabuマシーン	ライブ400名 16,654アクセス
2004年1月	カブドット塾	第5回 確定申告	20名
2004年1月	セミナー	毎日新聞ネットトレードセミナー	50名
2004年1月	カブドット塾	第4回 確定申告	20名
2003年12月	kabu.studio	第1回 ゲスト:坪井慶介選手	ライブ100名
2003年12月	カブドット塾	第3回 オプション取引	20名
2003年12月	セミナー	毎日新聞ネットトレードセミナー	50名
2003年11月	株スクール	第22回 東京	493名
2003年9月	株スクール	第21回 沖縄	150名
2003年9月	セミナー	東証合同セミナー	180名
2003年7月	株スクール	第20回 大阪	130名
2003年5月	株スクール	第19回 東京	540名



『株の自動売買で
ラクラク儲ける方法』
ダイヤモンド社

2004年1月 kabu.com公式書籍発売
発売から3ヶ月で**10万部**突破！

- ・紀伊國屋書店 経済書1位(3月)
- ・amazon.co.jp 株式投資1位(2月)

2004年4月19日現在

当社では、業容拡大によるシステム監査、および顧客管理態勢、公正取引等の内部管理態勢の強化を経営課題として、定期的な内部監査の実施、外部機関による監査を実施しております。

内部監査に関しては、執行部門のPDCA(計画からチェック、是正処置までの一連の管理アクション)を、ISO9001(品質マネジメントシステム)、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)と連動させ、これをコーポレートガバナンスの一部に有機的に組み込んでいるところが、当社の特色です。

カブドットコム証券の監査の形態

品質監査(第一者監査)

執行部門(品質管理委員会)による監査 7回実施

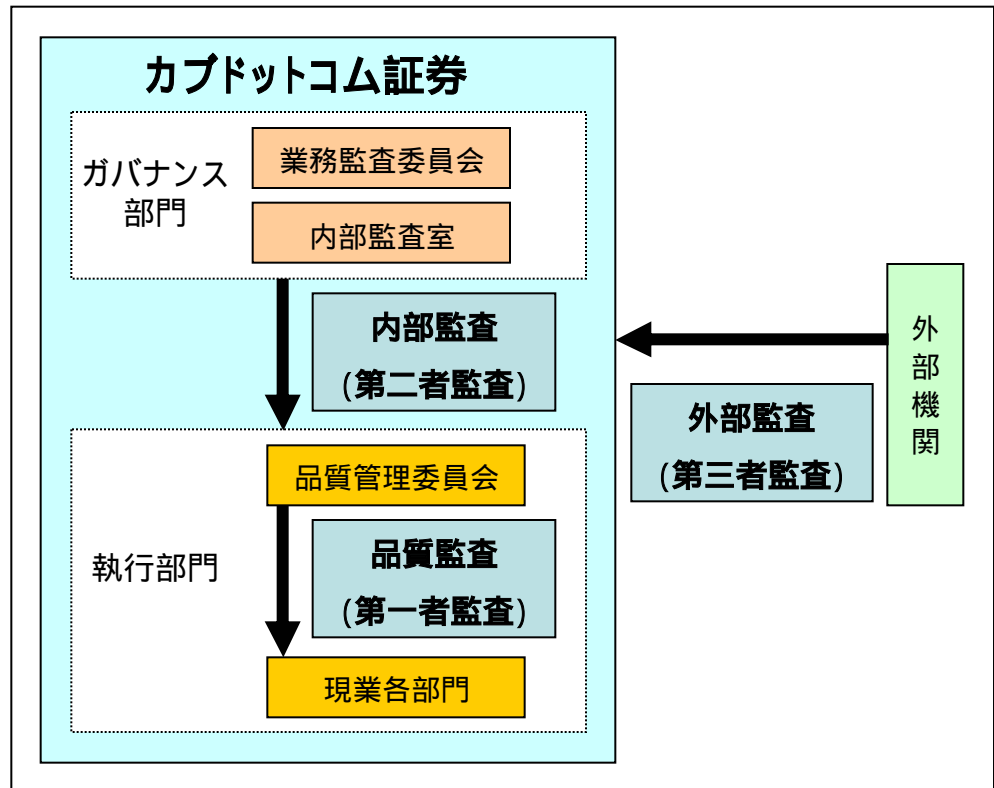
内部監査(第二者監査)

ガバナンス(業務監査委員会および内部監査室)による執行部門への監査 10回実施

外部監査(第三者監査)

外部機関による監査 8回実施

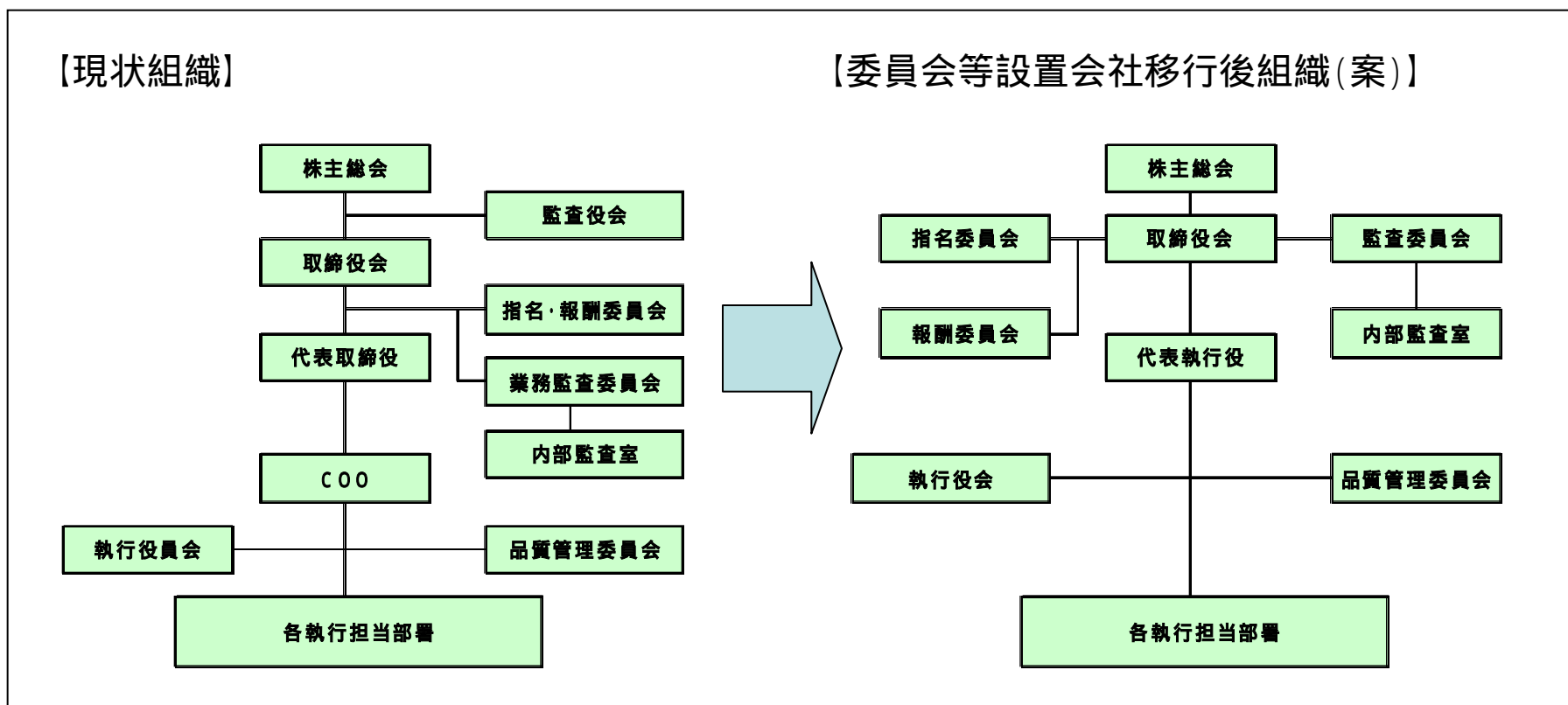
計25回の内部・外部監査を実施



監査日	監査人		監査項目	監査内容
2003年4月	中央青山監査法人	第三者監査	内部管理体制監査	分別保管の法令順守の検証
2003年4月	品質管理委員会	第一者監査	品質管理体制監査	品質マネジメントシステム(QMS)の適合性の検証
2003年4月	品質管理委員会	第一者監査	品質管理体制監査	品質マネジメントシステム(QMS)の有効性の検証
2003年6月	品質管理委員会	第一者監査	内部管理体制監査	顧客管理・本人確認態勢の検証
2003年6月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	売買監視体制の検証 他
2003年7月	業務監査委員会	第三者監査	品質管理体制監査	第一者監査の体系の検証
2003年8月	品質管理委員会	第一者監査	内部管理体制監査	公正取引(売買管理体制)の検証
2003年8月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	内部監査体制の検証
2003年8月	中央青山監査法人	第三者監査	会計監査	会計監査
2003年9月	中央青山監査法人	第三者監査	会計監査	会計監査
2003年9月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	内部監査体制に関する検討
2003年10月	品質管理委員会	第一者監査	内部管理体制監査	顧客管理(顧客管理体制、内部者取引管理体制)の検証
2003年10月	業務監査委員会	第三者監査	品質管理体制監査	第一者監査(中間報告)についての内容検討 他
2003年11月	品質管理委員会	第一者監査	内部管理体制監査	顧客資産分別管理態勢の検証
2003年11月	(株)IIJテクノロジー	第三者監査	システム監査	ネットワークの脆弱性の検証
2003年11月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	顧客管理体制の検証 他
2003年12月	DNV Certification Japan	第三者監査	システム監査	情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の予備監査
2003年12月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	分別保管方法の検証 他
2004年1月	品質管理委員会	第一者監査	システム監査	情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)基準の検証
2004年1月	業務監査委員会	第三者監査	会計監査	会計業務に関する予備監査 他
2004年2月	DNV Certification Japan	第三者監査	システム監査	情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の第一段階監査
2004年2月	中央青山監査法人	第三者監査	会計監査	会計監査
2004年2月	業務監査委員会	第三者監査	システム監査	外部監査の是正状況検証 他
2004年3月	DNV Certification Japan	第三者監査	システム監査	情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の第二段階監査
2004年3月	業務監査委員会	第三者監査	内部管理体制監査	SLA監査 他

今期中の株式公開を睨み、ガバナンス機能と執行機能を分離することにより、経営部門の管理監督の強化を図るとともに、執行部門による意思決定の更なる迅速化を図る予定です。

平成16年6月の定時総会後をもって委員会等設置会社の移行を、平成15年11月27日付の臨時株主総会にて決議済み





カブドットコム証券

カブドットコム証券は、伊藤忠商事・UFJ銀行などが出資するオンライン専門の証券会社です。